

### 3. 1 情報収集に関する課題（防府市）

防府市が指摘する情報収集の課題については、以下のとおりである。

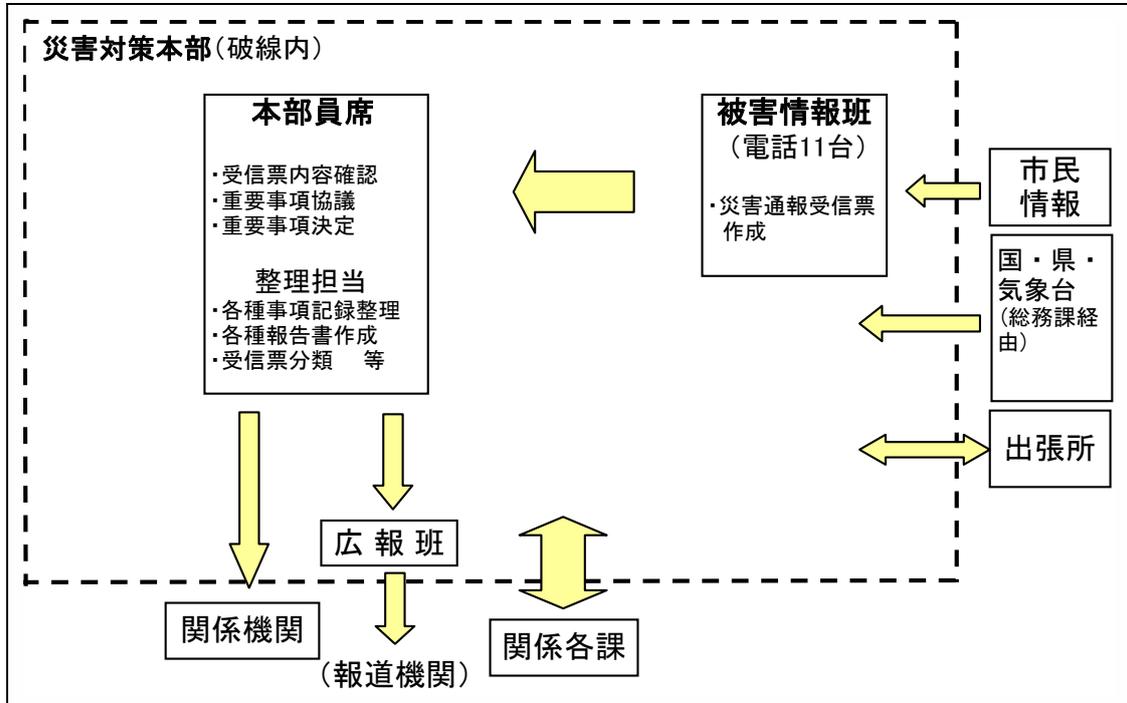
#### 【情報収集の課題】

- ◆国との情報伝達に必要な直通電話（ホットライン）があったが、機能せず最新の気象情報等を本部員へ伝えられなかった。
- ◆土砂災害警戒情報が発令されたが混乱した状態の中で、土砂災害降雨危険度レベル4の情報にアクセスすることができず、土砂災害降雨危険度レベル4を確認したのは、当日の午後であった。
- ◆気象情報が総務課（2階）に入り、その情報をFAXで災害対策本部（3階）及び各関係課（河川港湾課、林務水産課、農業農村課等）に送信したが、送られてくる気象情報が感熱紙で出てくるため、それを一旦コピーする必要があるとあり、二度手間であった。
- ◆住民はテレビで情報を収集しているが、本部にはテレビがなく状況把握が出来ず、本部における情報収集が後手に回った。
- ◆災害情報が膨大で現場対応の指示等に追われたため、本部員が災害対策本部を不在にすることがあった。
- ◆被災受付電話が輻輳する中で、電話の内容が聞き取れないため、状況の把握に支障があった。
- ◆災害情報が災害対策本部と消防本部へ別々に入っており、情報が輻輳し一元化が出来ていなかった。
- ◆外部情報系パソコンにアクセスが集中したことで、庁内パソコンデータ通信速度の低下により情報収集が遅くなった。
- ◆災害情報を受理したとき、「住宅地図」の地図を見ながら被害場所を特定するため、時間がかかり対応が長くなった。
- ◆災害対策本部には無線（基地局は2階の総務課）がないため、移動系防災行政無線を十分に活用しなかった。

3. 2 防府市災害対策本部内における被害情報の流れ

【旧体制】

- ・市民情報を記入した災害通報受信票の内容を本部員席で確認し、各課へ指示をしていた。
- ・情報の収集や整理、広報資料作成などを行う専門の部署が無かった。



【新体制】

- ・各種情報の積極的な収集を行うため『情報収集・整理班』を設置する。
- ・情報の分析や軽微な方針決定などを行う『統括班』を設置する。
- ・本部員は重要事項決定作業のみを行う体制とする。
- ・地域や関係機関、庁内等への情報伝達を確実にを行う体制とする。

